



# 学校だより

平成30年度6月号

文教大学附属小学校

<http://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



## ピラミッドは

## 頂上からは創られはしない

～北アルプス自然教室・八ヶ岳自然教室を終えて

各学年の土台作りである「今」に想う～

校長 島野 歩

長雨の季節を迎えました。学校の校庭にある梅の木、杏の木も豊かな実をつけています。先日、出張から戻った私の机に6年生の女の子たちからの素敵なお手紙が置かれていました。「校庭にあった梅の実です。どうぞ香りを楽しんでください。」そのお手紙の傍らには、大きな梅の実3つ！嬉しかったです。梅の良い香りとともに子どもたちの優しい気持ちが心の奥底に届いてきました。

さて、この1ヶ月の間、5年生は北アルプスへ、3・4年生は八ヶ岳へ出かけ、多くの充実した体験を積んできました。北アルプスでは井波の彫刻作り、地引網などを通し様々な人々の人生に触れ大きな感銘を受けたことと思います。八ヶ岳では酪農体験、フィールド散策を通し自分たちの周囲にあふれる生命の尊さに気付きを得たに違いありません。

また、1・2年生6年生も、この期間宿泊こそありませんが、運動会の練習等で、仲間と力を合わせる事、自分の力を精いっぱい出し切る事、多くの学びを積んでいます。

まさに「今」、各学年の学級の、そして一人一人の「学びの土台づくり」が行われている真っ最中です。壮大なピラミッドは、決して頂上からは創られはしない。土台づくりこそが命です。学年の1年間のサイクルで言えば、今はその土台づくり。仲間との絆、教員との信頼、学びを追究していくことの楽しさ、日々の積み重ねの中で、こつこつとその土台を創り上げていけるよう支援してまいります。

「見て 聞いて 体験して 学ぶ」  
子どもたちの心に深く刻まれる学びです。

**写真左**：富山の島尾海岸にて地引網を体験しました。漁師の方と引き上げた魚は、喜びの大漁！そのままお味噌汁に！漁師の方の心意気に触れました。

**写真右**：八ヶ岳の麓で酪農体験！牛の体温を感じる乳搾り、聴診器をつけて心音を聴く体験。まさに「生命」を感じる感動の体験でした。

